

# 治療費未納4億8400万円

## 川崎市立3病院、5年間で

川崎市立の3病院で、入院・外来患者の自己負担金の未納金残高が平成19～23年度末までの5年間で約4億8400万円に上っていることが18日、分かった。

同日の市議会一般質問で三浦政良病院局長が三宅隆介市議（無所属）の質問に答えた。答弁などによると、未納金残高は、市立川崎病院（川崎区）〓約3億3800万円（約7400件）  
▽多摩病院（多摩区）〓約

8300万円（約2千件）  
▽井田病院（中原区）〓約6300万円（約2千件）

―となっている。

川崎病院では701万円が未納となっている患者もおり、3病院の中では最高額だった。この患者については「外国籍と聞いている」（三浦局長）という。市は未納者に対して、電

話や文書、訪問などによる督促を行っているものの、経済的な事情を理由に支払われないケースも多いのが現状。5年間滞納した場合、不納欠損処分として市が損失計上することになっている。